

乗り放題乗車券 リニューアル

東海バス(本社・伊東市)は10月15日、伊東市内や南伊豆・西伊豆エリアで路線バスが乗り放題となる乗車券をリニューアルした新商品、東海バスフリーきっぷ「伊東・伊豆高原2日券」、同「下田2日券」などを発売する。新型コロナウイルスの影響で多様化する旅行・観光ニーズに対応するため、既存商品を見直した。他にも一部商品の名称や料金を変更し、各案内所で扱う「往復割引乗

来月15日から東海バス

「南伊豆フリーバス」の島1日券「みしまるきっぷ」の有効範囲を分け、利便性「ふ」とし、料金を大人はを考慮して「下田2日券」千円から1100円、小「石廊崎・下田2日券」学生以下は500円から「堂ヶ島・松崎・石廊崎」550円に引き上げる。「東海バスフリー」の3商品を用意。片道400円以上の区間で終了する。いずれも沿線観光施設の利用可能だった「往復割引乗車券」の販売終了として「東海バスフリー」東海バスの全路線(一了に伴い、施設の利用券「きっぷ」の名を冠し、その部を除く)が乗り放題と「割引券をセットにした

「往復割引」は今月末終了

のうち「伊東・伊豆高原」なる「東海バス全線フリー」「得トクバスバック」は2日券「は」、既存の「伊1きっぷ」の2日券、319商品から4商品に限定東観光フリーバスの料「日券は「全線2日券」「全」。天城路フリーパス(大人1500円、小「線3日券」に変え、「伊ス」も30日で販売終了と学生以下750円)はそ「豆高原・城ヶ崎バスフリー」なる。のままで、有効期間を2「きっぷ」は「伊豆高原」詳しくは東海自動車日間に延長した。南伊豆・城ヶ崎1日券になる。〈電0557(36)1・西伊豆エリアは既存の「みしまるきっぷ」は「三111」へ。